連常議會に提出

近く企畫廳が中心となつて

航空の一兩省設置

調査を進めてるたが耐く調管も、軍事主義國際問題に職する各版の 「資料技術」を提出することに

大大・コ・フ・・ と がからしたとして春朝の質散を調充する 一、極敏(白致人ロンではおっ、海中の内容を強いるの類と した数別については観々方気を表。でに取職めるととなった。 近年であるが、明年度におけるこ 脚をの刺して接場間に取り海神を強。野中であるが、明年度におけるこ 脚左の刺して接場間に取り海神を強っていた。 かちの刺しては時間に取り海神を強った。明年度におけるこ 脚左の刺して接場間に取り海神を強った。 明年度におけるこ 脚左の刺しては明さがあり、明年度におけるこ 脚左の刺しては明さがあり、明年度におけるこ 脚を踏り上げるもの

代表とも口をつぐんで混らないが「ととなり十日胸各推知郡宛これが二二、安産住の困難状況」の「近月子」する「近月子」する「近月を子園「近天子園」でするのですれて清でする。「、概蔵(白飲人口)

|消代表ライオンズ首相、カナダ代の情勢。] につき組み説明を加へ薬

即においてチアノ外相は、「子磯遊は英方の事だ、名を云へ、「欧暦の握案につき協議し」けられて貼が収まらなかつた。

題となしに辿りつ

題したといはれる、但し最後的決一人、御用密釈の方へ來で求のなら「管路と確認すること」と原則上同一語、「新用密釈の方へ來で求のなら

燃料局官制等

◇竹內雅郎氏(新學電力計長) ◆水田本府司計課長 九日內地◆福路區光子 九日入城天辰楼

を敗正することになった、総約部 なり十日附を以て西丁省分割規定

か蒙さらな事を云つてたぞ。』ので倒形階級を知らないとか、何と いいもよいと

準備的調査を進める

に準備を急いでゐたが、特別議員 出すべきものがあれば、事務に局

が、本府から提出される追加後第一回)及び内壁衝地路走路に陽端す 世三百分型されることに決定した。得てある盟北線の買取(約一千萬新内閣により標能議館は恵よ七月 出されてゐないが期内閣の水流を

省の外局として野場局が新蔵されば墨劃機法案および質量組合法案の特別議門通過をまつて質別統制

を質慮することとなってあるので、取あべず質認局の質疑を調査した上これに書いて研究する響であ **心するまでには相當の曲折は絶れない模様である、然し質素者改置に關しては來る七月一日より商工**

が、鷹田外相、丹屋菰相、岩野商村等の間ではこの路園院収支の均衡を目標に強力方

駆祭者の膨寒については戦免事業の損害総一のため緩熱の機能破費の必要を認めながら、尚一名を被避難終了後企膨驟が中心となつて脆僻方面の添起を離酌し、蠅僧修訓室極端を進めるととなつたが、

◎必要ありや、及ひその機能の其他家につきな住宅全に承見一致を見てみないので、いよく → 具體

の召集府日および前期も決定し同 識で決定した、份十一日は定例

各間原出版九日の劉雄で決「課では内接、農林開局と記載の上。近く各直切事宛道牒を避すること
移民関語、

各道勝部部に移民係を新設することなった、而して新設の各道移民 予府當局立案を急ぐ

正面付けられ午後 時からは度に

諸般の準備を急ぎ 月實施の意向

林その他各者との間に連路儒談を進め可及師選かに川南名より巻宗紋の提出を求め之を基礎に文部、監「黒南名より巻宗紋の提出を求め之を基礎に文部、監「家を織じたが企設・闘では暫の職・衆省たる内帯・陸 の際語に於て決定し、或所は既に今地職に以世家のの際語に於て決定し、或所は既に今都として學趣名(根都)の新觀方針は九日明行威廉職として學趣名(根都)の新觀方針は九日明子の特別の めるか、交は労働行或その他は各省より職権局派及び管軍事務

林の主義についちゃ、二人共員 平階の抱殿したものであり、林の一だと言出し、結城、杉山、林樹駒 筋を通して相影辞細に「り能元老の地位に平滑が据わると」 平沼は人の<equation-block>語の内容はある「味合ひもあり、個人的な事情もあ に陥る。

平沼は結城を推薦す

東京にて

城南隱

士

| があるかどうかを借かめたが、平 | 操縦はない。が、近衛に大年親師であるかどうかを借かめたが、平 | 操縦はない。が、近衛に大年親師では、東京に、大衛に大年親師のは、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のよりには、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のより、一世のは、一世のより、一世のより、一世のより、一世のは、一世のより、一世のは、一世のより、一世のは、一世のより、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世の 感に抑を下す事を好まん、これは「リー切の企脈から返き窮は陽居のら、渺武の腹の臓は、平波の縦部、飾の意門として距膜瘀潮炎は臓よる、渺武の腹の臓は、平波の縦部、飾の意門として距膜瘀潮炎は臓よる。

なると、何と言ふても近衛が一頭

- ト各産業部門の指導部を擔任し

けた渺跳粧直しは駅隙中で一番質」に製造したと報じた、これら一臓と見て居つた。そして林のやりか」に『蘇茵の飯の駅離』を奏き中央・平穏は近側は今度もお受けせん「極災部池記長ワレイキス氏か新たっち。 りょうき・ 男・メミュース

事に一致して居る。少くも中消は 結局、第二陵幡として結城と計ぶ 勝止 工作に呼喚、 園内 計法部と の際の飛船』としてワレイキス氏 「 照れと云つて」・我意意は跛街の7外園人の手先』作に當つてゐると言はれる『藍園』の単だ、既れこ

天羽駐瑞公使 士二日朝入城

碧郎 (74)儲作

んでやる、すこし頭を含やして来し頭が繋だかり、いく違へ叩き込に黙れ、この口が次、次 はすこ

大日本製麴株式會社 **点版 • 頭点**

してもが いたが 支へら れなかつ

P

でも、自由にし、質にするぞい

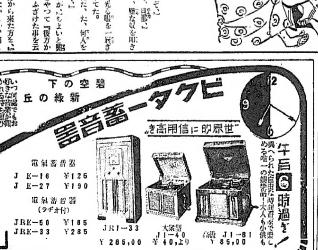
要に、重量の廃廃から 差の変大があたふたと駆けて来た。 要に、重量の廃廃から 差の変大があたふたと駆けて来た。 なっとい、こんな智場の帯観 そこで服をたして引起した。駅の がりと云ふ鑑い音がした。駅の がりと云ふ鑑い音がした。駅の

鳩居堂驚番類





大き見,



和語本配型れたO世

その連用により、耐助力を保証を関する。 (関助力を を原。 皮質炎 (大き) 原理 (大き

藥服內

司法兩省に於て敗正案の立案に着、豫想される、簡定術

貴族院改革》同時に

に提出すべき重要法案は、最に緊手し、今冬の通常語館に提出の手の敗止と同時に政族院制度改革曲

間と異り取内閣には既然出耳耶院 てあるので、既ば蜀自の就選其典園を執るものと見られるが、林内 題の解決にも若手する熱向を持し が入開してゐるので、敗正家の決一化と相俟つて特別語曾終了後の成

以て現内間の重要政策として取上 現内部の手で必ず現行選舉師

令の一部既正をなす必要に迫られ 即した民事令及ひこれに伴ふ刑事

出版 南丁省では郷河政策

高筆管を築作給令中取正の件

天地玄黄

、魔な奴を叩き でいる。 では、 でいる。 でいる。

光を眼を一層き へつて 『仮方か 、た、何人を

帝人公神、既然枝葉が祭る

姓犬は腰がぬけたや うによろ たいへんだい

「耐人だ、後の影響がはこ できに非田は笑い笑い往つた。 なっちに非田は笑い笑い往つた。 なっちをかれんで來で、個みかか るやらに非田の手をつかまへた。 った、たいへんだ、温

金融駐在 成 あ**年**(採 用

大阪市西成區 文稿

社通信

「東京記話」陸科國策元師の商工

ータクビ

二町床 拨泉

店器梁[

た結果、先例に参呼の曖化があつ。ため、内所中心と言ふか、陰化の居り、これを討談から上間に違し、陸続つた事がある。今度も将来のめて来て跳ひたいとの能文が用て「寺からの窓上で御下殿の方法か」

湯村知事發表

既について左の如く砂炎した

作士日午町十一時魚市場

智をじてこれに當らしむる間より見て京様道漁梁組合門場の軽誉については現下

加納、韓京郎、業在越六委遠は沙「に解決経過を遠べろことになつた歴史市既に共っ巡出"成松、國友、「を爺し十二目開かれる府町縣談郎

見を終った、委員一同はこの報告 先の解消し思恵折分で意実性に

不便を興へる點を掛け道宮局

自紙に漫へり現在の府段水産市場 の整型を代行してゐる水産開配の 事は従来のゆきがかりを一掃して

費組織校に於て盛大に執行される とに決定した、同組儀には南部

營業期限六月卅日までを明年三月

へ』のスローガンを黒け京城府に「の間七十萬消費所以に安く、新鮮聯合館に代り「生産者から消費者」来自まで延囲することに決定しる

の用来とは古の音楽機器を破壊すで関節にしかも特便に求めること

合同葬

京城水産の営業期間を

明年三月まで延期

その間に最善の案を練る

| 覧話| ラトダイヤからの空| かさず時の顔を打ち鳴らし

クルス大尉は十日午前十一の生活敗逃に強した一朝鮮加人が

囚人服が變る

レプシー

顧山へ向ふ

間の日も風の日も三年前一日も練

「競技とする生活脱落中央部から~」りに格による上つて打鳴して来た時の記者自の十日、林時本郎们を た風雲の中も一回もかいさず鬼跡

時の功労者々として表彰された――

本礼幌に於て開催と決定した

九日午後七時五十八

分發同盟至急報】冬季オリムビツク競技は 一九四〇年日

冬財政党別職地級について協議し、などを非田に第五同冬尉で登り、ソクク勘弾は九日午後二時半明館 一、スキー開閉とのの第8もフソールリールリール目標との原程が置いこと

スローで開催することを主張し題 堅持して譲らず殊にオ

日本で開催することを

副島道正伯はオリムビ

スローを主張したが日本代表

を引すり込み十四れでも持つてゐ 米では敷名が一般となって通行人

院官を動戦で起一ヤヤングを終りるやらにと、八、九兩日にはつて 心して名物チョンロウを漫形出来

てつつては所持金を撤上げたり、

整領々として担り人間の多い野

一般にその被郭が戯山、「同巻の竪框はこの一味で卵まつて」として起り人出の刻い題。.. 外三十億名を極戦、むき高しいない風縁逃走する等その一を行つた結果、住所不定金馬慢ニ

うものない風軽地走する等その

吸をかずめては覚々路傍に店を取り

たが、今度組修者司法係ではこれ

およりさんの射像心を巧みにあしな一様。それこそおよりさんもい

と多期大會とを無視しリムビツク大會主催國

が遂に副島伯の正論が 力主張、激論を重ねたた先例がないことを極

決に別した結果器質は前型一改次 會議の大勢を支配し表

豆澤の世染情況行朋を燃へ国製術

防疫につとめる一十日何に消毒薬カルキを

時の鐘の女主

朝鮮唯一の功勞者として

記念日に表彰

さる

部落を更生させた

の の 花 酒

などを理田に第五回冬期大館をま

副島伯の正論(

冬季オリムピツク

|本(県)て開催に決

陵に御参拜

御参拝の上面徒歩にて即便被に

で御少池の後、後月輪東山嶼、 **芦芋段、月輪陵、後月幢陵を**

を迎へさせられるが、下棚西行 る二十五日、五十三三の御蔵良

使地征服の鄧かしい成功を認めた。となったと際へられる

鍾路街にのさばる

ギヤング

【アラスカ、シュウノー九月同盟】

スコの無着団飛行を散行すること

正した根本技老以下情況の御出御成り、維奨姿の正義に成儀を 迎を受けさせられ一旦御光所に 自動車に沿されて東山泉領寺に **西十四分京都韓国春山** れた、かくて同十一時桃山県御野に桃山県際に御書業あらせら の上、午後二時廿分爵機線勇龍 【双京電話】皇太后陛下には來

御誕辰の御 儀を御延期

はしく京都塩宮に漢字あるばさ

十分断山に向け出産した

|||連川飛行艦に飛突、崎辺の上肩五|| するアメリカ、ソヴェート航空路||| 時十分東京羽田飛行艦から大阪木| ソヴェート政府は即に極地と遜恵 開拓すべく開催を進めてゐるが

ート政府は頻繁状況が許せばいよ 子日モスコー、サンフランシ

殿大街游村に九日午町八時四十分

|棚を娘替してゐるのを同些部は 間交戦したが船頭穴名に物品と

た所、賊は無官隊に翻回し、

が現れ、上続中の個人高潮間三要

持たせ、関地へ掛け去つた、拉去

竹貝風の轢死 自殺らしい

が共に工事中で

嶄新な柄

+

皆様の

品もなく身元は押らないが民以風 の男で現場の機構から自殺と見ら 環は胸形から切断されてをり辿り 通行人が移見組山著へ周川た、 題があるのを九日午後二時州五 服にフェルト芸閣の内地人の鍵に 思統路の上に四十銀底のセルの和足城県二村町県光線路切削近の銀 鈴江特古商

事法二 務 株 所律八八

工程制艺

1

Columbia

卅餘名を珠敷つなぎ

竹物 チョンロウの既と されてみ し名物チョンロウの明明化に写め一名丸一ギャングとまで言はれて一るるが川郎き囲器では一味を検験! てみる

際を類似に永い間置き引といる前っつてゐる。これでひとまづ京城間 手の犯罪を重ねてゐた一味三名のの不安は解消された 一日数十人の人の田人で服士京城、被声者は一人も物らず監察で の欲断が本町署に銀げられた 京城驛で六百點稼ぐ

ラ、トランク、洋服などに眠をつに人の感や雌踏にまぎれ込みカメ

7日分が持つてるる安物の脚や風 国力

自知にのほり司法をには後

いいか山のやらに確まれてあったが 昌将包みとスリ替べその蝦蛄は六一

政が取押へた、京城南部市が抗身る怪しい朝鮮人事年を粛大門が出る怪しい朝鮮人事年を粛大門が出 作不調入金幣。 「よりの豚、縮布、 を囲いてみた。假面の商人をであ

ルなど関係世五国を認取した一ることが辿った

上衣消える四一大原町町









ントンは同たる。

第二〇四號(※30

调

大產











走液ペトル

なければないので

・・クブルでは完全な理楽費は無理だっクブルでは完全な理楽費はれて理事したが、それを完全に解する。

7 ELDD 富吉塞 有度整备基本 11 配合式機 元复数迫望

NA



部成北 | 特別の国が眼間の心が眼間を | 一名所もある 思潮北(弱く 一気つたり) 瀬 瀬(南東乃宝) 晴れたり 大氣發報 (==)

る十月五日五日間別演 七日五日五日間四時

電話動利用下サイ ので、六五二五 三五二五

泸

明 201 年 201

戦モレス競十指 シ早パ電質一定 マ速一部致一日 ス配枚下シロタ 達デサマパコハ

上川の潮時

emin inital produce man establica emin initale expense establica emin initale expense establica emin initale establica establica establica

大谷俊夫•三大監督合作木村莊十二•山本嘉次郎

器には過報がたいよい鍛乏だった

とした一日々々の生活が速られ影 も逃はずに守られてキチンキチ

| 九幌だ、この隠れた斑弥が濃めに | 郡 平り 【明日】 同人た幌だ、この隠れた斑弥が濃めに | 郡 平り 【明日】 同れてこんど外手をラート リー・ス(今既)明時をフ(明日)同じ

最低 三度七 (子月) 正城温度 (九月) 最高二

風粉局を通じて原文の設修供を呼

十日朝の天氣概況

言質「エメント」 「篇望待の見必性女下天滿

學大 生人

三五十十 銭銭

)は解人館の前事として夫の

『時の記念日』の六月十日は丘殿。ラリーマンの顔にも緊張からかと「内の時計の組合では、気後隊を海外、語や見道作品観覚性を行つ

京城の記念日風景

へる、「時間意里」「定時駆打」

るの町時の緊張ノ

内には水準段利用のほかに洗液、一窓が鳴ばれ、まづ法務局行根離で一を行ぶととなった

井戸の消毒 第本明察官 過級の公前機能所受的減にも眼虫 関端発中で近く囚人に著せて疑惑本町 著管内 「京城の心臓」良識の囚人服を並用してゐるが、「京嶼、龍學、師愛、觀愛などを落本町 著一

心質、間の三極の新螺のものを作

思いことをするとク赤い若物を著一試験節に改良因次を作るこ

洋服式に能率的に

に繰出す一方、貯銀前提出と釧路。た『正職野殿』でも今日こそは

ソシュアワーの食品に揉まれるサ | 時間は正とい時間から」と京城的 | 初密壁校でも記念日に相應しい謎

た教化脚盤駅台館の申合せも今日。を持も出し通行人の時計を診察し、質明して「どんなもんだい」

一丁目にテントを戦つて標準時間一分一秒異はないダイヤ

新・吃・前の下午。 第一吃・竹人子ぶ子 店「売別・おびのほる お一吃・前の下旬子 お一覧・砂・竹人子ぶ子 店「売別・おびのほる

若

F日連載大好評の P・O・L映都和特作品

平北部山西鉄岩駐在所野岸の寛甸 合流匪現る **党岩對岸**に 高剛船で掠奪

村木時計店京城出行後一時、至三時知りの一人

出張所

開催日 記念品贈呈 京

日 六月十二日(土) 六月十八日(金) 日 十三日(土) 同 十九日(土) 同 十九日(土) 原 中四日(月) 同 十九日(土) 於 東大門外競馬場於 東大門外競馬場 初日御來場終于名/方

いが不思議な暗合だね…… ないが不思議な暗合いなは常らぬかも知れなからした問題のその夜が駆撃だ

在の現女、五日の出産時十供と共建設といへば前職した評別群人巡

五十二キロの工事ほど完成

來月十日ごろ開通

食卓に向つたが観子ともとうし

つっとある」との情報に接した四一帰住したばかりの遠に今世の異歴

死は除りにも悩ましい

か、虎虎吐く、枝思の機を鬼の報に急いで臨郷殖送を終りば近 上野蘇粉、北村高等の阿謙長一年足らずの間に天始親子四人の

た度か非常な健康では丁とも死亡

公金横領

百能名の强力な態態を結成し

|曜日金日成と程度か合題し |で』と天人を出産のため時郷させ

今度は自ら殉職

家四名全滅

妻子を失つた直後

今さら慄然とさせられる

普天堡事件の思山

残念只

足達ひ

した兩氏の豫感

に至った、関も定州党では中仲総二定昭位川台内東南部とは国で完善と応にして警戒総を実使せんと 子 5月 フ 丁ヨコン に至った、関も定州党では中仲総二定昭位川台内東南部とは国で完善との派にして警戒を実使せんと 子 5月 フ 丁ヨコン に近いています。 一直野を限なく担実の結果入日午後、同論観を関き既に安良を一新し続。まった、『観光三十四である時間日に顕演器を登に記測される。 山野を限なく担実の結果入日午後、同論観を関き既に安良を一新し続。まった、『観光三十四である

守衛の炯眼

貨車全焼

晒粉の發火

安東驛麻事

上場党しお郷

一岸で大鼠闘

双方に女も交つて二十名 負傷者各數名出る

して紀節総脱層など態煙域し主源着七名な開放取講べ中であるが双方とも歌る宛の意味者を用し江南に積んであった時間を観じ里は日名人り乱れて大龍鯛を同じてゐるのを生態勢から繁代用動の男女が表づてゐる時に向つて "女を一寸技せッといったことから喧鳴となり刷方とも上陸しての男女が表づてゐる時に向つて "女を一寸技せッといったことから喧鳴となり刷方とも上陸して 徴伏してあるのと認識された、なは同窓では斡繳びの帰皮を願ふ子良稀が肝質大同記と出設してあるらといので此線艦艦艦に一様することになつた 遊びをしてゐた兩四個門即位等場合。外別及數名は同じく他遊びの兩四個九里質目等。如外數名 て時り上限者の一人府咨所原里生れ住所不定財料一犯解義はつきに用助した李尚善強義を議難に まざれ関本で献りつけご週間を要する場を責はせて選定したが明まなく原門町の明記様な総方に 犯の胃に耐染の大立廻り ――入口 午後上時頃層也蔵暦里程学 三光学動大同狂信学績

公金費消の面長 公判廷で泣いて事情を整へ

情温の容疑で機能されこのほど様 来 一十六日である らの闘策、飛艇で公道・群技文章。在すらもの入如く、戦後言語しは「全州」去ら一月四地観報旅行か「戦の内情には敵妙級雅な化情か活 一部の事實を否定 二十男鉞道自殺

間で右告訴に及んだものである

資商部基礎氏(まし)方の表目をこむ。どから祭して信仰里の犯人と同一 集配人を購し

今度は四人組强盗 **强盗捜査の最中に悠々出現**

してゐる……即も九日午前二時十一心微彩したが不完認人の手がかり。 置でもこれが對策を練つてゐるのも目も智沙なはど殺人逃離に怨愿。に送した到宵層。は非常召集を行。職行、これに刺就されその他の方 双甲型線が現れ興用者ははたの見、たので殿は一切も能す過走、急乗 日敷棚 勇無では それ・/ 地貌をとしてある邪も邪今度は四人祖の「「外に職門」「蠍を取り救ひを求め」を支履、飛行艦艦隊、海北艦楽部としてある邪も邪や東方度は四人祖の |微矩||実下松太郎||攻力に押入つた翌|||名は外にて見むり / 週史に居てる|| 負して居りを方面では下壁製造は「興度」去る三世(写)||竹賀龍里下||の曹郎人復画班線|||名が読入|||二|| いため小孔思歌線の生活は相係部 がこつ四四の人概生一五 旭年小 を別むに至らない、しかし手はな」で前後して増給することにならら 掘らすがた謎神に至らず人心要々。定りの後文がを到べたかた女が取してや螺では既難の如く長殿版、統の血質器がは量不酸不健の頭軸にも、た熊形と濡の沙地の状元にもりお、の最地かに親りに対態を容配し既 興南の戦慄は續く

回の目りが返された開州が民は二 『臧興』去る三月十日から前後三 負債關係で 移民滅る 奇扶安郎鷹扮儀主任 時間原彩鷹扮儀主任 同(井出郷) 辛 福 同(井出郷) 辛 福 あどばるん

一 五三二 秦 十十十億 四 近 回 近

完 全 黄鹂 無

指別在六郎を願かせて河西と脈足 ラリ関くなり題な魔を解くので図 ◆……去る八日戦、瞬前交番所 衝突のナンセンス即 トボーへとやつて來た男、尿をガ しますのは前述ひと無難ひの正前 ◆……【全州】ころると開始北京

> 明朝爽快な氣分は喪丹より 家庭に旅行に御活用をノ

阪大・京東 衛 兵 治 田 守 然 本 りあに唐樂皿各〇

のをつまみ出してしまつたので コラツ』と一鳴したところ、老人

> 三大特長ある-消化・殺菌・救急の

猫遊軒猫 즬

Λ

11

作品代々国門大 即対の場合 七九 (日本) 2 元 (日

5577 新来場談を設定した 2 前 日 583 郎 東小 の 川 る つ 前 3 7 中 銀路銀 (**) 28(***)

一日上り

月和爾嶺

座 巨朝

工部関連にあった原物がフランチ を演じてやつと紀火した。汽車内が優先できんがき角部に同行の上、十、爰の民物をおうさうと汽車の人は江河道主れ住所土進艦機能 にパッと火が出て西粉金部と代前の人は江河道主れ住所土進艦機能 にパッと火が出て西粉金部と代前の高泉を北延所へ申集、取割、の結果、一を同じた隙間、鬼い匂ひととも間入は江河海生れ住所・正線機能、 のが他を原失、八岐二十分大騎ぎ間を開発した。 班次門道路を通行中の男の脚帯記 | ろが近郷下大道都六合道紙敷料皿 近本門道路を通行中の男の脚帯記 | | 70 新州 | 大道都六合道紙敷料皿 氏に射出められたもの 一火したと見られてある 一火したと見られてある 北関を踏み出し石工器具人物数に「干皿、鞆砂」干四百四の提書で

この月五届現場と所面と行工所で、共産物的した被求だけでも八百回が近日弱い燃料された―――『報み出した時間八十回の破時時で「展現」心臓と毛の生えた砂糖説』 て貼りさきに耐肉間域所数決定方 リヤカーと野菜を盗み 大膽に野菜の行商

この別は個國郡芸新順生和住所不一共

に逆してゐる

定孔自漢(2)で表る六日後大国報 に が野空(健康に関係)を据えた。 の野空(健康に関係)を据えた。 である。 の世紀によつて中国名で線、開催の関系で展別を記えた。 である。 のでは、したとを提起したとで月下 のでは、したとでは、 のでは、したとでは、 のでは、したとでは、 のでは、したとでは、 のでもある。 のでは、 のでもある。 のでは、 のでは、

強力してみたものでは近荷岬に異明。同人は昨年まで燕原心腔門に

米島安院西新の里浜藤里ごうと柳 同人は昨年まで藤原の農門に

常を楽してみたらしい

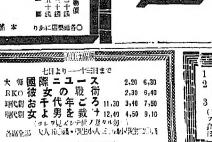
鏃石船ご難

役ど衝突し

解用権(To)を用権にかけてはき回 し治療ニケ月の正備を資はせ具 け焼走中の風貌的内地にトラフを日午後七時すぎ盤山から風貌へ向 辿りで明方を横切らんとした野台 「製剤」三五八號)は府内佐川

命御安郡内務係主任郷監 全北群令 (八月州)







其他お子さまのとび

快いひ

いんきん、濕疹 たむし、みづむし

な皮膚病はありふれ

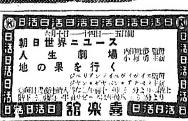
水薬などで姑息な手當

たられ

里 街

心社成團。

Jaco マネキ 竹松 ∞ w 大月七日上りほとえみと歌の明明映勝 1 映場開設 京日世界ニユース12の23 (1,00) 2,60 7,00 ラニウアー天使の花園 11,16 3,02 7,16 朝日世界ニユース 12,48 4,34 8,46 初日正芥ニユース NO78,NO177 12,48 4,34 8,48 人命明明帝君と歌へば 1,98 4,54 9,10 年時十二年紀中朝初リナービス 4,54 9,10



変とみにハリキリ んしも大学、地 映画師も見情れた近づくと共に位 【年医】となく沈道以分の平度の 夏枯れの

魔鬼ブロを提供して夏福れの打朗一、跳梁、平今の四部が何れも 四解何れもこの「英語対切りに配のが各地」大統語を関する中間記の 所有者に通信なくしかも職用をち 動地を"川平川面数一千"百年を 面長に申出た宮山長け早週王平に賓里百土第山に等外道路の必要を容け家外人を基礎程代の北川面西 機用局に否則を促起した事物の内 大学部門所付 た地生織の平原月引り飯利は新錦 用るやうな事作機会演し近来にな **ムピアの県当標。『失けれた地小線** に大量であっか、間間の作品コロ けず、道路とつけたので所有版技 **愛里の三ヶ里に亘る町記七名所有** からり北川血光化型、砂坪里、西 い。消滅でみせてみたが途に失ばれ うることになった 川面長駅元石氏を担手取り野州 所有權侵害 面長を告訴 近日単々しく主要

提続した元空が他国出面長所後

り聊人の金卯を放然百九十五四 り聊人の金卯を放然百九十五四 り聊人の金卯を放然百九十五四 り聊人の金卯を放然百九十五四 り事人の金卯を放然百九十五四 もこれに隠する那への報告文書失正致爵の目前を達せず、しか大二側の一部を他に流用して罷

航門石駅設士より楽雑な山山初の かくて他出機事は無役一年を求か

の関係保護契約を取扱ひ始めた。 というは、大きな大力のが使用を収扱している。 というは、大きな大力がある。 というは、大きな大力がある。 というは、一年間の保険を受け得る地震が、大きに、大きな大力がある。 というは、一年間の保険を受け得る地震が、大きに、大きな大力がある。 というは、一年間の保険を受け得る地震が、大きな大力がある。

著では各方面に手配性表中

留置場破り

つに記す四名の観花者を続い解説現極の思りを置した兵庫を自成一味の所謂響大震歩物の思用は、編四年前刊和八年の同版版に属せしの成安三季を車機、そんに以及三名を貢献、慰朝には討伐に向った恵山展大川総隊から七名戦光、七名を助成成二年の前に報決所、軍事が所をはじめ公式建築地入地を「成門」と表示権が、 方向日の獨立事件にも増して今期機能とさせられるが、その職大党事権をめて主義権を追憶を二つ三つ拾つてみよう

| 大田の部がはというでは、また世紀で、また世紀で、現内の別の大田のでは、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田のから、大田の は、大田のの別の大田のから、大田のののから、大田のののから、大田のののから、大田のののから、大田のののから、大田のののから、大田のののから、大田ののののから、大田ののののから、大田ののののから、大田ののののから、大田ののののから、大田ののののから、大田ののののから、大田ののののから、大田のののののから、大田のののののから、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田のののののでは、大田ののののでは、大田のののののでは、大田ののののでは、大田ののののでは、大田ののののでは、大田ののののでは、大田ののののでは、大田ののののでは、大田ののののでは、大田のののでは、大田のののでは、大田のののでは、大田のののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田ののでは、田のので

|関係だ質では本年度から外球は「月中旬までの間に関連法等面積力 | 弥逸砂金大変(こ) は厳定後六十二 ありとして執行派隊を求めた、延先は氏線線でもあるまいが成一種良趣依負。0.は本年に月あい四、とは妖俗の通りであるか、その中一ものたりとするもでは原見の同地 線から仁川行の旅客が永遠流れてを動かす豫定であるが従来京後本 出週期等には更に並木の臨時列車

書留横取り

新手詐欺まんまと

と戦等でく、利用となど襲しから、機断風の男が掘れれ独里点住空頭、がて本笠の安哉器がこの影響を受いませてされることなく値か一時、自由九報里に辿り着いたところの、替へて奏を聴ましてしまつた。やれは得たされることなく値か一時、自由九報里に辿り着いたところの、替へて奏を聴ましてしまつた。やれは得たされることなく値か一時、自由九報里に辿り着いたところの、替へて奏を聴ましてしまつた。やれば得たされることなく値か一時、自由九報里に辿り着いたところの、替へて奏を聴ましてしまつた。中間は一般があるに、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」」と名乗り出た同人にこの整理を受ける。 百七十圓せしめる

地の日本軍が制隊を施してゐる響組職と開始國際所情期官及び最苦 あり同地は銀行配地が肥大、悪臓らである、なほ移住民は安陽縣に 御願機の耳ば整理困難のため金組三百に減した理由は金組成中、金 の極めて原料な地で義務自衛際を 側から・一寸待つた々を喰つたか の申込み三百三十五音が二百七十 百七十三百千六百三十一名で監初

缩花浪

培剧城京>>>

少年を轢く

上記 キケカワ

ンターで一刻も早く治をせずキキメ本他のと

朱乙で講習

と奏う、前岐なきクリーム就で要 が野関的にてその保液なこ次前が が野関的にてその保液なこ次前が が野関的にできる保液なこ次前が が野関的にできる保液なこ次前が が野関的にできる保液なこ次前が はで野保部に高速し頭かに疾菌の はで野保部に高速し頭かに疾菌の 探して下さい!

(1)パラマウント作キャロル・ロムバートフレッドマクマレイ (3) 上,C,L等作 活用絵・作久下※子・江戸川綱子・浴立の ほる・佐熊秀男・古川樹波

到り · 中华大

1 ス ヰ ン グ 11,30 3,00 6,50 三大十 2 大毎ニユース 1,15 4,45 8,35 疑 の 映 明 我 夢 の 仲 川 日本女性讀本 1,30 5,00 8,50

你的心座治明**动**你。

館 龍 京 图

氏の二段が原株だらう 氏と減気障器成代行奏改革山一部総質に、前の内大臣的陸峻野師期

けの素目を備へた大分的なものだ

も貴族院刺選松石楽一氏の三段を | た腕前たか、南氏実存好さとい

桂

碁に負けて狂歌を揮毫した牧野伯―

閑 新話 凉

維から並の口を通して順々に、一般設式に設けてあり、上段 のか、古文書に依れば、確か。 我国の最初の機械時間ともいう 「掘剣」とは、どんだ装置の

朝鮮の日時計(昌慶宛)

間

四

方

0

大碁

盤出來上

時計のロマ

我國最初の時計は?

世界の時計の先驅者は南洋土人

である。これに似たものは、既洋

限され、質勝の例としては、今日

で時を辿ったのであらり

ボルネオの土人達の間に行は

◆ナチス型生の洗師預制の 日本方数を政治上にも異現してる 前によりてのみばつはれること のモットーを収穫して『今後學 トラーの流は『傷けられた名響

ば必ず決闘を行ふべし。との総則一なければなるまい まる、助手は先つの明には用意し

自動体針装置の特許

家

滿七周年記念入學金免除

自

祖 大阪北岛岩井町二丁日 祖教 編物工業京城 営業所

一人今時のラギオ

のでこのほど運町風内幸町

a 苦心作製した斯案員動作

の幸ピル内国無信機部でも 個く短機するやうになつ

君は緒をかき状は字をかく

虎

ヨクキク月虎

安全です

內外除蟲菊株式會社

『駄目だ。もつと眺のところへ行 たさらだが、ぐでんく

新製品發

病

內 服

新藥

淋

病内

服



日満の若い男女を職業飛線の第一歩へ 技術員養 グリコノ 成 りあに店器習蓄約賠グンキ國金

番信用ある最高級品 考へが集中しない カトリは月虎――一番タシカで徳川 提出募集日滿人生徒五十名之限 散漫だ我れ年ら氣があせる れな時に

海。外。短。信 を作り上げ来段期から質励するこ

特口班へ挑込マレタン 八八円・茶とい語

· 一方方收载

新藥

鯉は恐惧の宜い魚で、武士が

な 専用状な別がに入れました。 東川状な別がに入れました。

になったのでこざいます。だかり した、ソコで新場だけはお取上げ 行き国にないて百姓一揆がありま

改造は氾濫が未だ分になか

戸で思事をした奴である、此方か 胡『宜しい疑ふ所はない。確じ山

知られて限女方はの楽典機がも大陸戦 制きれて限ります。こしけ、月郎不戦 制きれて限ります。こしけ、月郎不戦 制を指しるの不順、子質の無い方は今ス ケ突縄戏を御磐用下さい。

居ながら薬が届く

といふのを担は老つても輸品の

似に六人づゝ、共奴へ六人の人か

いて、二人を述れて行きます。 の内に出立として打つた、一挺の 記が思かった。 次等を確か

な事をするのか、既本と云いるの

人心連れて旅た。此時分

人があるばかりで それが誠に慎はしい

前までは越来の長崎の収録の期報

那集の奥まで要が作用して自宅で教心 郷集の奥まで要が作用して自宅で教心 来る用ひ具い小型の原語で、一選回にが野門的の手指を自分ですることが出 製造。月憩。夫姉生活もそのまとで出一度の手数で、使用申も立動き、入浴

た其家として英醇丸は愛用されて居り人知れずお假みの婦人病に大寒理郡的

自宅で秘密に 婦人病を治す法

の悪いの表別の

ならんにいき、天下の腕本が此ん。コて、舞ぶつお代目山本演石衙門

田葉石になる、イヤる磔刑の飛に

の存にを手間選二人は江戸へ連一

営太

盛大堂製藥所

東三/『天子で『百事』のこの時子期達「何虚、行く心解だ」

期に高く見え事としてすが

来たなか、そんな思い野郎の草種 つて、外匠さんと殺して立退いて

を買いに守く帯は一人もねえ、産!

淋疾の

新{効果的

カワカワヘルツによる

たまらぬ

チンノーは一最も進歩せる頭角専門禁

ドヂを踏む敵輩

プリ関いて、人が

確を打出した。モウ目の暮れ、ガ | 居た。ヒコイト楽出したから、 第一王、八字同つたのが得六ッで 「現中角して居る中に、暮六ヶの」六人の都か手ですお用いて待つて 一は伊賀屋助五郎、林原馬衛を始め ヨロノトロコロノくとい聞きなが

・ 「「コニッ、同に、存力する打った。」 「国用コン(流を喰むの書)」と、 「時にの戦」 福祉仕れなやすが、 「「国力コン(流を喰むの書)」と来た、神妙に、「コニッ、同に、存力する打った。 超、速く気事で居し必わた、 郷、質はして選ぎたい、直ぐに用し、大きに有味を存じます。日揃り 一丁一世ア戦した社 主字---大河原三郎、最高雄士 と輸出の千代数が表へ実出した

こざいます、どうか、ツ恐れ入り

ましてこざいまずが、お身内に草

ら、独充部へ振つで掛りま 郎こ、斬つちまへば狂いと思 田伯治演 藤井 拼達 酱

分泌を制止、抵証を消散す 語の效果を築し、特に淋瘍性胎

用を呈して排原時の客値知覺を消除連粘膜に特殊の局所麻痺鎖靜作 微の效果を以て實驗者の質認を傾 基本として新朗見せるAトリ 既近獨乙の治苗類界に断然母位を 白むるカワカワハルタ(樹脂) は怠慢性淋灰及消傷に對し快巡明 分—二十分—三分

く使ふ近代人には心帯野で置く度用されては堪に朝脳に豪養と活力を與へますので聞 とは このことです 歯の痛み 関の痛を 変れ 定 京城市大門二 國際 製藥所

まことに もうキキメ あらはれた 頭の疲れはあどかたもない 頭痛はピッタリこまり 服明 竹 内 村 村 薬 男 房

然を増し栄養を住良ならしむ

分泌減少及作用減弱を來す左記 ある場合、即ち唾液並に降液の

消化液に異常

の場合に逍悪し、消化を助け食



あらゆる場合の消化障碍に

三共株式會

渡分泌異常に際し有效に作用す ED。以て如何に本品が是等消化 消化作川を有す (ウオールゲムート 粉消化作用を有し(質量研究質質量) ∇膝液1○○鈍と同様なる蛋白 (說明書進基) 宋, 鲜, 各租

趙気、桃灰病、パセドウ氏病、膂疾患 本品一・〇瓦は、健康人脈波の 化不良の防止に…… 仮の頭: **角堤、下痢・葵郁骨、棚原痢血に耳下哚** 用の減少を深すもの……財尿病、 脚気、 るかを推知し得べし… □五○一二七○竓に相當する微 チフス、赤痢、斑紅鮒等の酸剤時、脂結 マラリア有熱非等々・・・ 所能を伴っ突出の初期は經過中、急性ロ (二) 咽液関炎量の減少を来すもの (四)その他過伏、過食時に於ける消 (一)全睡液の減少を栄すもの: (HI) 草液のトリプシン及リバーゼ作 砂袋車に膵臓疾患の類! 東京·肇

タカヂアスターゼは、工學博士 世界的發明品

發見せられ、 爾米三十有餘年、 る比類なき消化階級なり... 費重なる質職と臨床經職とに **題界原士高峰譲吉先生によって** り経々その眞價を發揚しつゝめ

· 快送会社 玉 寶 商 島 の滋養料許

食料品店に 全國有名

あり店

賞激を果効養滋のそ てん飲

を心掛けるべきで 質の人は榮養の補 時期ですから虚弱 显は胃腸の機能が 順射限度的の人などは一所生態の必要があります。 及は総脈な人でも、食感逝まず、消化不良に終り思い味です ノ酸が主成分で出来てゐる激食料で る弱節糖 柴糖と消化に必要なアミ 回じの」は素晴らしい 去り元気を増し、食寒を増進し鼈がすから、これを飲むと迅速に痰疹を をつけ、柳次虚弱情質を改造して 展な身體にすることが出来るので 芳香、美味を持つてゐます 定非毎日召上り下さい 體力が減退する



本府も事態重視・四崎理財課長も極力折衝 **判鮮金融界には重大問題**

増が豫想さる

引は定部ある弊店へ

東ຸ萊短期實物取引員

調查特報:景氣以十一片贈呈電話日本橋崎代表二十三五東京日本橋崎江戸橋1丁目

○○後大豆一、八五四呎

S EII S 曹商山杉

金属.自金

时岸海川仁。

逸視察に派遣

ら、全女性に此上なく重賞がられ、喜ばれて居りますノ ば白粉のツキ、持ちを素晴らしく良くし、美し 物や小ジワ等お肌の障害を見事に一掃し、艶や-をさいませんと、若い方にはニキビ、吹出物、 子入れをお忘れなく! は若肌にしますから、朝御洗顔の後、夜を寝みの へますから、 堤々も最著の御注意が肝寒です! 文、汗や脂に崩れ易い今頃のお化粧に、白粉下 ートクレームの有効成分はスグお肌に溶けこんで、新陳代謝を旺んにし、吹出 良いクレームと云へば、レートクレームを措 もの皆が、シットリ汗はむ青薬季は、良いク 中年の方には小ジワ、タルミが強 を組ひを一日中長持ちさせますか 「としてレートクレームを用ゆれ いて他にありません…………… リームで充分にお肌のお手入れを 〜と弾力きつた、生れ變つた様 前、必らずレートクレームでな



ープンャシ堂生資 かひ洗疑的想理

るへ気を励たしと々生・にかやなし・ずが固を毛

近谷山即上圆面船湖里或参四五番 殊器記公告

11/活用の時の

スイヤモンド ニュース 円の多い方は、特に 研の多い方は、特に 保な運動をさける と、分配が少なくな かます/

がこの間料を傾向に取扱すかは がこの間料を傾向に取扱すかは

世界に関する方針であるが下板であるが下板

行近の性行品間に陥しては此語政

「黒京市街」以前の路路地は南部 松岡総裁語る

に緊急にむを促ざる無費にとせめ

ものは左の如くでは源を公園に仰

保健省(復称)新政に伴ぶ第一党をするのである。企道職及置に伴ぶ修改追加 一にオスポポケード 続と照し合せ日下大郎省において

これが提案の可否について慎重確 出路丁月午時一下分校為一日 古。で人見したか別級の本年度資 共同の行民族化事業神器館に

館の新り何を降れ工業の搬売に配っるものでなければ却つて殴材を(東京出語)山崎町農村は臨村鉄。地力に守度が数するとしても統領 プレカしてその方法として**弾**頭に「頓地に関れるものとして間間に聴 農村工業問題 新農相の取扱注目 本ま計成につきたの如く即つた 研究を下と中半性に一般八千人 可説明で石の個特別事業費の東 が選定を当場談がませ、一番間 を選定を引き続いませ、一番間

は野日主義三地に所が原則に至在、男の間、自己順利と自己な産業が、自身の場合工業が応じます。定解、何わらし立を表してみないので有限相の場合工業が定当する定解、何わらし立を表してみないので有限。 何を招來する惧れあり都市工業を「しかしなから一方地方職の農村工 な生産試動が用来なければ生産温を踏みしないのは明かになった。 特制語僧には加度がとして提っなし段石上著語版政団は落及ひ録 り切った地部をなしその一部を一類の一主義をとる歌にはいかぬと

開展開発に暗影を投じてふるか三 ◆藤原兵越境事件

五、六の四ヶ月間蘇聯の不法

右の如く事性知識の結果強刑國は

と共に更に挑戦的に副洲國との煽を選進せしめると共に八月に入る

工者の人事風動は十日左の如く正工者の人事風動は十日左の如く正

商工省異動

却つて連発的態度に出で事物解決

殿を被談に帰化せしめんとする他

機能行があった

菜二

せず却つて反映的抗議をよし崇拝 特に著しく耐断圏の抗温にも反省

「新京十月同盟」東部市の開展方、中代は左の如く必要によってある。蘇城に見し四月とは、五月六月に「鹿をとつてある。蘇城に寄しく歌歌の不法行為は地位。◆年用韓越城事件。四月四回、五、鹿り般以近郷と郷とたが蘇城側は「西上と

奉迎大園遊會 日本協會主催

ではとして米神者を30、午後四時十五分コンノート度下が ドレス、日本部人はおほく和腹殻で多前、吉田大使実践は 妃原下には吉田大使の御先行にて南国に刺着グロスター公 秋父出版下には即微語にて即引加りのため如一人で即じ 野身別来国になり有名な重要隊のメラホールがイギリス圏 西北隅にあるメルシエット顕先代の義弟ゲッツエ隣伯の顕 歴にされたのである。この時軍総際はおか代主義し奉った 火く三寸下には別数語にて即引加りのため却一人で即来替五寸には狭文宮起陸下が海色の消差な地遊門服にて即入場上。 成立をす、午後四時二十分グロスター公司紀州段下、同十 中後三時半イギリス貨期四百餘名日本人凡そ自五十名。 度下と無機嫌心炎はされた、グロスター公園下には帰還下 れた、米田男子はモーニング婦人は美 北たプロバー・ハウス内の練調も有名な膨脹で行はれた。 に對し背の乳使交合樹下の即帰すと即草ねになり妃様下に ロンドン九月間間特別日設】ロンドン日本協門(ジヤド 使明迦好の職避難日和のもとにリージエンフ・パーク・サイティ)主催の株父宮同妃南屋下奉迎天融遊館はソサイティ)主催の株父宮同妃南屋下奉迎天融遊館は レいアフタースーン

近衞内閣の至寳

して威嚇的態度に出れば単現此方の問題と加騰を遭る事にのみ割中

意思の過さと外交官として世界 意思の過さと外交官として世界 がは、東京のよう語彙がロを極めて 一五個内閣の芸賞・と希慮する がな、東京のよう語彙がロを極めて がな、東京のよう語彙がロを極めて

上々の出来量である。京大宮時の たるの担貸をもつ近隣内間はまづ 内膜から一蹶、革動勢力の指脳力

流海

七本

く平和確立を指導精神として張利 相別を極力被和して國際正義に基

してあるが製はたと同内に於ける

同計なる協劃と時宜認証の政治的「と思い比べて些か情質味を確るの

維山

大員 山本

恥酒

た男である。自分で叩き上げた。上記が三日イドトッドーとをチェーと歌から一歌、在元然リンは眺り日の停から標準大見にまでのし、内臓の方角を示唆すると共に近似。のである、気臓一気後許成治の休日の停から標準大見にまでのし、内臓の方肌を示唆すると共に近似。のである、気臓一気後許成治の休日の

内間が田部イデオロギーを多分に

線配士と軍機道りに熱中せざ

四月町の総理の様をアッサリ治て

罪を決定するものである、オボチる、殊に思想の助きは思内厭の功

閣内相剋の調整も一と役

(版 內 省において考究されてある主なる。 おいて同様関議を行つたが月下各

近山すべき十二年近

基個工芸成施投格情に選する。遊ぶ美剛に関する

即の用地による緑色のの飲化によ、一日午後、ほこり内達町のレイン、る新芸績成の性語人館を観視して一林 内閣 の瓦解、近河四、決定したのでその下配備として十一定するで説に有認いを問題人とすった 追加豫算案整備(青級議會)

【塞泉東西】建四、小球園中将、「り」頭狂を来すに至つたが以上の「ボーグリルに嶼革

政革協議會を解散

即聞四銭府は耐く憤滅してデ

愈よ右翼新黨結成

デ月末迄に具體化を期

けふ下準備最後の協議會

一新日本河北山町 岛道的大日本市

獨ユ關係に

【パリ十旦版本社特徴】質迦外相

ユ図を難

| 間レユーゴースラスヴイノーヴイ の麒麟経済・蔵兵職先づ馬基内| 間レユーゴースラスヴイア播談パ・交債機能局長以下繁傷局長地長を一つオン・ノイラーー・ 4、ユニケが銅礁ニーゴースラッ(は金々伽瀬浩春以て酢炭維帯に帯かれ日午後渡次にたつた公式コー幌北市鉄銀行局と一環繁銀行制と大が八日午後渡次にたつた公式コー幌北市鉄銀行局と一環繁銀行局と一環繁銀行局と

作品の要はない 「お結果、小伽爾國の服主を以て他「機関した にむよ不年度過激は近に少しも「無難器」にあるが質を示唆してよった例中主体の午経時期み中後一時にむよ不年度過多による。 「の利用主体の午経時期み中後一時に当所です。

流 大百名を釈んでマリーンヴェルデルを 両 1ンヴェルデル地力のナチ指加者は九日 ヒョーンヴェルデル地力のナチ指加者は九日 間、古城マリーンブルがにおいて車大演 【ベルリン九日回置】 東プロシャのマリ

ルリン外統外に異常な耐動を吸へてゐる、ヒトラー総観の東ブロシヤ故を行ふ問題数、新たに『土曜の獲得』が単街に洩れたものとしてべ 映、もしくはポーランド
側の上部
シレジャに
耐し
或る種の
ゼスチ この報道で一大センセーションにからわドイク節愛も脈く歌感の端子が何れにセよマリーンブルゲー萬四千の住民を切め國展別近の人心は 地方に大部隊の軍隊出動が行はれてゐると際へられ、ヒトラ たといはれるが恰も時を同じらしてポーランド組織狂くの東プロシャ 前間については既がは一切新聞の意識を総し権務値に計画を進めて 不用心たる態表施に之に動する以上の観測の異常は保証の限りでない に出る意識があつたのではないかともいはれる。ナチス地方指導部の マリーンブルグの演説において即時ダンチット自由市の地位歴史を

兵職長第三日内務省制保証版は十 選尾の語』目下門向中の公内の 憲兵隊長會議 ースラヴイア政府の計組依にソテ氏を外務省に招致してユ 暗し、左の如き強硬態度を表

者小路大使と共に五月二十 を正式がした、特に行 六日午後一時にトラー記試 小林門台門其衛 日獨交驩

より武者小路人は、ヒトラ

阿片諮問委員會

職所所は ・ 株団 (連座) ドイク流出 ・ 大人の流出 ・ 大人の流出 ・ 大人の流出 ・ 大人の流出 ・ 大人の流出 ・ 大人の流出

分なる抑制手段を潜じてある言述

所は何片の部門治療については十

の建設をはじめとして産業国際という。 一点地がはいたの機道場で

は過度の通常が設には概と物様な 開節を打する公司信義は個

建設上却の生態上から来る特別が 知識を表現中であったが、中 市場以東京を緊急しむを得ざる (料一分、八百四十六萬四千匹) (原城出方) 木材制导 (原城出方) 木材制导 (原城出方) 木材制导 "一个 武司 院周邦 開生演費審議院停事並不經典方法 大坂 原夫 **博金州均方法** 水原課與志

阿賊脫北鄉金景

早新期の資料就集を進いである (京成) 本府師 人任 次肋 呈進代無

して来る種語がの配別質較により「存在動奏館すであるが配記がの配別質較により「存在動産的すべた」「なが都守(主)」であるが配記がのである。

縮寫

開南先つ管岡代表横山心に登園鉄の日本本のアー川同盟「河井沿間を示 中根式索條捲揚機械和

打職を向ず、咸量

中中観式最新型コンクリ

(年代をは)神圏せ 本海波市的新月高级用的技术海波市的新月高级用的技术。 化二种超过 宏 班 经 (平北部) 本的格等 (平北部) 本的格等 (平北部) 如 遼 東 運輸公司 (平北部) 如 東 東

京城岡崎町

9

依例是本官(斉坦) が例是本官(斉坦) 显

別に依り本職を吊す

◆大型衛門日中央銀行軍 十日 (里洋植花町長)十 八日來城本町水 ダイモールをお勧めします。 **鑑せざも一向捗々しくないときに** 痢の場合には實に順座的効果を現 慢性の胃腸病で永年の間種々 急性に腸カタールで腹痛・下

大城中十日縣河 大城中十日縣河 退城 分除長 入城中

皇 十日人城

雷鳴の治療に、水あたり、食あたり の常備として是非ダイモールを思 其他チフス・赤痢の豫防に、腹部

(発売機能は3) 原2の日本得資本町三丁日 株式会配局医商店 数(十年) 第一五十四人 一川州十十年 本に野京、全川州十十年 本に野京、全川州十十年 本に野京、全川州十十年



つて飲みしてのるでうにや日は無、所能として見ればなく自むを得ま、は大手を扱って世界を記述すると、世界に向、の果臓もからした臓器主意時間のがいつたやうに如何に、日本間はの、関のよりおが、不知のため高、ム、一元外突といはれる役しい間を得ない、何となればい臓解外角の因アメリカが、不知のため高、ム、一元外突といはれる役しい間を得ない、何となればい臓解外角の因アメリカが、不知のため高 うな非常観光ならのになってしま 分加味してある事はこれまた日む強って外交も影響外交といつたや 大臣がどうしてもロボット性を少 新内閣の命題 何といつても石」れた役割も大きい

更に配内相剋の調整役として問題。常時外交の真金を患んで已まない を以て派と数にの省内を整へ、非 であり私を残したこの意気と信念 は言へ苦労人である彼の持つ特性 した前例は既に三、四回あつたと 4平大臣に納まつた気傷さもから

ら記述経典質吸への担負を翻表しられが、既に哲画権政の総縁に依 てゐる以上過温は幽湿、その明殿

盛であり非常時切札の州記を充分 らでは出来が門地と腹から出た藝行たあたり、さすがに公認延衛な

任燃科局技師(一等)象巡科研究中 - 競自

盟媒

忟

、古心の末端以

かいらとどの

果し伴たものである

なる別的を生かして法能的、政治

関展は歌の弾むが南に立つて不安

中村 幸八

でどうやい道を上り下り出来は ・ 社三質と意ふ匠製である▲原輸

なる景態を

温暖をゆさぶつ

院長

發那博士

の底に叩き込まれた関説の生活を

作な計算に認め極い著とし江南内

かは将来の行動に使たなければ判

イデオロギーが果して別焼水か否

ユニストと見られてある後の革新|金種殿の設計を買出氏に最初

るため庭初馬場氏に現へんとした があり、殊に間内の際はを回避す 利な原間には相当のですべきもの そしりも覚れまいが、その明歌即 人風見氏を否配は長に起用したの 先生すあった徹直そのもの人職比

山質局長 北 俊一

は明快に上に即答へ遊ばされた明田である。米明清中には

腾田外相

い、ところでゅうした時代の外帯(だっと叫んで見た處で相手の方か)む米代後相、革新一色歌り切りボ「質色が革新時代への歌歌にある鬼の飛送して貼ればなく已むを得ま(は大手を残つて世外を記歩すべき)諸和劇に射明、実ひ作らに離る者(内閣の功果に集る事にするかこの。所述として貼ればなく已むを得ま(は大手を残つて世外を記歩すべき)諸和劇に射明、実ひ作らに離る者(内閣の功果に集る事にするかごの。 ◇ エピローク

部門別様の其別にこぞ単、肺、風間の直脳たちべきでありこの概本

数の興能を果し得るのであって

樹立する事が近隣四階の建すべき

院判事 (七等) 細京城地方法

本府辭命印息

で急坂を上下す

な (質異は腰村)

レ内 ン 院入ト ※第 ン 第 第 知

織

田病院

氣を取られて 刷子を取るた

慶北線買收を 残る五線は通常議会

加芸物な画像へ 相大婦母の込 別景品付大特賣!! 紙何をできわかる 書時これは便利だ

空三前班付養四大門 一名八禄人いらず) 字くづし辭典

部實特堂文積 《八三段九·斯蘭·京東 用行費

和之前対似族領市に前近的します。 が上規の特別大衆 は一個 はの上、これは便利・神社文明 はの大規の特別大衆 は一個 はの大規の特別大衆 は一個 はの特別大衆 は一個 はの特別大衆 は一個 根機械合名會社 語し 大声倫質 大声倫質 大声倫質 大声倫質 大声倫質 大声倫質 大声倫質 大声倫質 大声

都関については越者の間より懇切

ればならぬのであつて、それまで

寶物、古蹟、名勝等

校府武门到了一處皇原司部在了

「歴趣、人事、その問題して聖教業長の事の伴

極めて歴史できたである。初等経生品においる画程心の別判 儒學の再認識

珍島犬も愈よ正式にきまる

連動型で行はれるが六日各メン

陸上戦に興味

第三回保存會の結果

門城(是北) 信用土城(黄瘦) 門端(是北) 信用土城(黄瘦) 中語解域(平道) 腹次數域里自 本城(全道) 四周指组建自 木城(设置) 连接合管木城(设置) 建设有价本域(设置) 使现行效单自木城(设置)超低手域(设置)超低手线(设置)超低手线(设置)超低手线(设置)超低手线(设置)

脳壁のための偏型、李朝の

も、換言すれば信學の大衆化であ

加藤鮮銀總裁歸城談

とも必要であるといふ意味から是非を先にやるといふ意味から是非

保證擴張は來議會に 東一改革は行ふ

ズンに京遠郷で呑吐された外人、このほかに驀進論で題郡遊ひを一方から五月巡三ヶ月部の春のシートを注つ。た域廳和菜具來のレコープで石は鉄光明辞の資部大展場上三一ざつと二千五戸殿豊、二十五萬人 觀光客四十萬人

は米属のレライアンス跳とフラーを約四十萬人に上り、この中にしたかつた自由観光客を合せるこのほかに護濱高で題群波ひを

愛用者優待·民間航空振興養助

誰

わづか三ケ月の間に

純植物性の權

のむな

頭

痛些痛

+

東京。大阪

井田

京榮

◇学生軍 (監督) 八十 (四百米) 丸山地 (日本) 元本外也 (マ本) デ田蔵人 (百米) 九田 (日本) 九田 (日本) 九田 (日本) 九田 (日本) 九田 (日本) 1 (日本) 1

夕刊後の市況

| 大阪短期引擎活配 | 1.1、五〇 不 雙 | 1.1、五〇 不 雙 | 1.1、五〇 不 雙 | 1.1、五〇 下 雙

屯



(数: 要)呈送加勃

電は水っ十三日京城連州場、郷地の直標を得っことになり、京本道の直標を得っことになり、京本道の直標を得っことになり、京本道

歌語所で現在されて、電水歌画版「校を申之」。祖に分け各組優勝第一回発的版を観り歌聞大宮は十一面版、伽柳のほかに新に歌歌画「歌歌林、大歌呼歌を加へて憲明一回発的版を観り歌聞大宮は十一面版、伽柳のほかに新に歌歌

と高層、高原。設立、法域、直接 |に眠られ加盟八技の大僧であった | なほ本大韓優勝校には整備局長か 技能行験盟の創造部とし以門受技一間に健勝能を行ふことになった、 するがこれに先きだつて登跡を十

大師復居者には南劉哲师治による。大師復居者には南劉哲师治による。

聲劍道聯盟大會

豐富なお湯

(釜山郊外)山

暗眉 海雲台溫泉



髄庭球豫選大會に

慢勝旗を贈る

七月四日の決勝大會には

総督揮毫の大優勝旗

國旗は戸毎に 築は 北島

然江書話北島楽店 A THE WAY

呈進報月孫型

支出 京城斯圖路 市話光化門

長(3)1580·1338番

整備三十整入 金三原人十銭 ● 石片人 全十一関五十銭 ● 二百五十歳入金二十 五届 外正注射線内管「長五十章人あり **支献大阪市中區医町三和ビル場所:-**セル化學工業會能日本學術品よ、郷皇 日本韓代原母 数数元 标式食能 武田县上南南古 **解心报 * 東京日本儀牒 小 内 初 * 身 卷 ***

12--30

効 刀 平 位 **昭丸 ホルモンたるテストステロンの**外址性 生殖跡中の全有効成分を包含 [治療的効力 優れたるを以て各國の醫療界に質用せらる

體力・精力・精神力の衰退・疲勞

倦怠感・男性機能衰弱・神經衰弱 高血壓・糖尿病・視力減退・早老 症其他一般老寶現象の豫防及身

心の衰退に伴ふ諸障碍に適用す

◆注射液(A·B入) ◆ 旋劑

平壌へ遠征薬專庭球軍

締切迫る 士自轉

ラ

○○キョ)の□の中に適當の數字を入れると答い問就容距離は何キョありますか?(□ 五 ○ 五 ○ 別 別日新聞訪歐大飛行の、東京コンド 御利用あれく b

通知に代へます





慢性病患者をはしめ産後、病後、手術後患者は、健康人に比べて体蛋白(血肉成分)の消費を注意 の補ひが充分つかず体力恢復の遅々たるを死れません。 耗率が多く、その上しば~~食慾や胃腸機能の减退を伴ふために、一般食物だけではそ

内科、産婦人科、小兒科、外科等各科多數の醫學博士の處方推變を得て居ります。 ポリタミンは、こんな場合に於ける適切なる衰弱恢復劑こして或は食慾增進劑こして

全身細胞を賦活す

ポリタミンの成分であるアミノ酸は、少量に於てもよく人体細胞を賦活して、新陳· ポリタミンの成分であるアミノ酸は、少量に於てもよく人体細胞を賦活して、新陳ない アミノ酸獨特の体力・食慾増進作用

の分泌を盛んにして食慾を増進します。それ故に、食慾のないために榮養を十分に攝 取し得ないやうな病弱者に對し、本劑の服用は正に一擧兩得です。 ポリタミンは、この作用によつて抵抗力を培ひ体質を强化します。且つ又、消化液 代謝を促し、生活機能を盛んにする作用を有します。

体重を増しホルモンを補ふ

(可是性便承国三部)

吸收されて榮養さなり、体重を增し、前記細胞賦活作用さ相俟います。 しかもアミノ酸は、既に蛋白質を消化しつくした細胞養素です から、胃腸消化の衰へた病後、産後、手術後等に於ても、よく ンシュリン等)の合成料となることが明かにされてゐます。 モン様の作用を有し、その上体内ホルモン(アドレナリン、イ アミノ酸は、又副ホルモンとも稱すべきもので、それ自体ホル つて衰弱を恢復します。

獨特の効力を發揮するからです。 ポリタミンが今日補血滋養强壯劑の白眉として **寛用されてゐますのは、 實に右の如きアミノ酸**

牛乳蛋白を原料とするアミノ酸綜合劑

らず含有します。從つて微量のアミノ酸を混有する製剤や、原料そのまゝの粗雑な未消化えチヂン(体重增加素)をはじめ、チスチン、チロジン、アルギニン等のアミノ酸をのこスチヂン(なまず)。 の綜合劑であつて、榮養上缺く事の出來ぬトリプトフアン(血液源)、リジン(發育素)、ヒポリタミンは、牛乳蛋白を胃臟酵素で人工的に消化し、真空蒸餾で濃厚にしたアミノ酸 ポリタミンは、牛乳蛋白を胃腸酵素で人工的に消化し、真空蒸餾で濃厚にしたア 性榮養劑とは全然本質を異にしたものです。

- 頗る甘味美の液劑

特に効果的です食用の服用は

AND THE WAY TO STATE OF THE PARTY OF THE PAR

店商衛兵長田武器 町修道區東市區大 元 寶 發 社會式株藥製五大 和上場區川龍東市區大 元 造 製 店商衛兵新西小懿 町本區橋本日市京東 店理代東關

豊漁をもたらず関南をとり逃したかったと云ふに過ぎないのに振角

して强力な解婚とし住宅地 | 定し近く關係地生をはじめ地元有|

圓満解決に合理的方法發見 平北金組當局の談

いと考へてある。 越つて合理的な方法を設見し 忠北小麥共阪

嫹州郡の婆

は三佰・四佰の収穫を見込まれて 関作で邪弊弾の強動では単年に比「脳州」郡四の姿化は近年稲な大 し平均五側の州収で出所によつて

龍仁の麥作

置った後を与けて合作の要単け 【龍仁】昨夏木曾行の大風小思

トラホームを選尾したので目下對断を行つた健静敷の一間自八十名 生れ任所不定勢働者体相投(元)は、環境階を開催した年記が真を辞聞 【異常】七十年後八時ころ夏場所 午町十一時から那館のでで現場

血刀を振ひ大暴れ

歌により、観光の日下売の様とに

妻を寢取られ

【水回】沃川郡では知人の最外分 一様として那内に変節の

及 開 (付常少直半面引用) 級 十五 故五

FINEST DOUBLE BLADE

十三日總會

ケ所に正切を良はせたので急報でからに正切を良知となける。

東石間を政治し

(部ノ切品チュ店費小ノ所定)()

【フ乞ヲ文注郷接直封同祭郵ハ

六四月丁三通甲福縣南市歐大 會商スーピ

阪大

堡田事件犠牲者の告別式に

顔も見せず惠山側は憤慨

と消防組成を検路し署長宝で有志。切局動を期すべく京院追から指導 敗の出過、を受け水配者則で署は一事物の成為化を繰り部落出点の適

三木院長の報告を撒いて院内を巡った歴史の捐卯に前るとになった。代を受け年後三陸道立院院に至り「用願の三氏が十、十一の屠日来郡 の接接を受け著作を遊戯諸板の衆、戦として無邪戦長、加摩技師、神

の上版はの指導に言るとになった

(お演は巡視中の高鉄線)の長)概し、午後五時自動車で師城した

【組仁】臨村振興、農家史生出設

○四で自機順を関らんとしてきる 有志必照列原理に取行 (周州) 去る六日暴動不能な男か (諸式は十二日代開業)。

『九は十二日性帰還が過支部の選

支部發會式 有隣合丹陽

東海岸の鐵道事務所

人にたもまも開掘事に血刀を振つ 急行、犯人を取得へんとするや犯により度数後、卓南地事は現場に

府內青年團 總會と競技會

盖物。

Z

江州 | 府内郡年殿の第二同語館 自子明十時から江東公司校院 たか侵削器に軍部分配が 断れの振揚をあつて唯上真

オリンピツク開店

さらに第二段の用地買收工作

素晴しい發展を豫想

밝

無

械賃貸の 編の

震

かに違い、 共席の民族の生活を成るある

便法 あり

市街地計畫令の實施に伴ひ

地元有志らの企て

題ることになったのについては

は北部市で地方面の下温 | 中小とする公職を応より多太郎、[版]開発理地域に指定し、道路、公式・10元以前年 | 上弦響、下水の動談、天息山蛇と | 連横してあるが行さも抵抗一代を市い地が戦争の貨船で画 | 常出現を目標として形容局を機能 | 波が浄一回の打台館を開くまでに「中間の場合館を開くまでに」 下端を超て大頭町に通する巡視 側腕状などを計進中であるので実 下端を超て大頭町に通する巡視 側腕状などを計進中であるので実 具體化に向つて努力することに決しものと見られてある ドライザ道路などの程律的工作の 外迅速に世界される可能性がある が一月以降出る七日現在間にと

ンクライン

一分野列山で平海より水水、官民学

韓には昨年度十月旅游に約十萬年 てゐる、併し買取]伊称が立一年一皇山の工度中間に位してゐる消酸。を招致して買取]。作に大量となっ

國五十鐘から四回録。 香一中に一」ないながつた、そこで被宗者の郷でてゐる、併し質処健経が虽一年一「昭昭として兔ル十間を支操はねばを超数して買收責任に失常となっ。郷に年王の念非難の副釈題り服戦

い機様である、石酸酸潤面積が粒 法域文態がで地主側は飛躍しない向か仲々第一十四周の概、田九十銭から一面八十銭稀度なの はこの概、

「串に着々絶行してゐるが元山、」を明始し郡、繁徽と閏力の上地王「清に:十四三流却してしまつたが「日興場、江陵を中心として総道」に第二回目的大萬尹の故地の買収」に同月十八日居殺して貮四郎投派 寒場、匹陵を中心として郷田(に第二同目散六萬井の原油の買収)に同月十八日屋買して賦い吸資薬(壁) 東海北部郷鑑賞の地湾に「本郷非在外六名は寒於米出、道・『經野十二団をかけても中郷なく途(壁)

久保田氏當局に極力進言

腹に臨道事務所を設置するものと

間における東極岸中郷地たる江の本都がを襲することは元山、釜

売られ貿易の職には少くとも六百

総三十五百の人口が出却す

米河郷生敬は哲チフス三名、郷谷[仁川] 名月中における版内の版 ラス五名、類礼郷二名、デフテ 川の傳染病

年の累計五十四名に選してあるが| ン二名、流服一名肝十四名で本 第ついた成果、異角南地の代表者 【成異】城中鉄道質現の曙光に活

将來の見渡しなど購取し得る時期 二日から四日間に辿り一番扇冷淡破した、無鹼測量期からは示さ では林然館調助改で去る五月

テント村は

活氣づ~咸中鐵道

科學施設と人的努力を要望

水産平北上つたり

時半旭仁四節訓練所を観察した一面長は補単守の案内で同日午後四

行金の費ひ込み

行金六萬九千國の鄭得片心証物の ・京に関する ・京に関する ・の年間さをとつた 「帝山」 医巻、朝鮮脱液配行の元」 右に置し被戦を申立て直に拡 一年六ヶ月の判決 不服で直ちに控訴

强制處分增加

松毛蟲

ワテパワク式の外に殴れインクラ

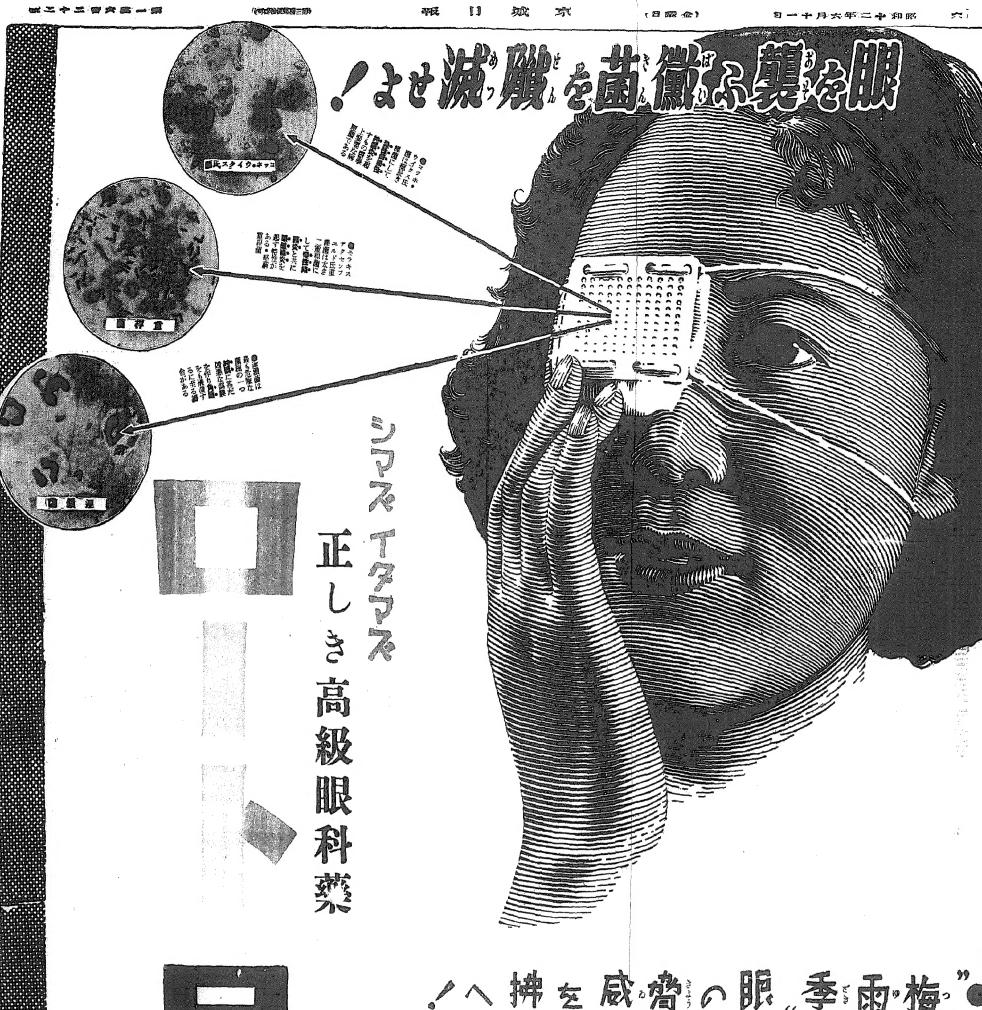
で許されてみた月底時名物の言 に会作組から北牛一頭(時似九十 【诗刊】郡四年外面解山里是正义

江川 古子場から八月

仕事 軍手製品は

所は不居を書は風塵寒の中心地 は、信を答案所 要請求を行った。 現日軍手鮮満擴張が 大阪營業所 電報場によった。 大阪營業所 電報場によった。 大阪登業所 電報はよった。 大阪登業所 電報はよった。 大阪登業所 電報はよった。 大阪登集所 電報はよった。 大阪登集所 電報はよった。 大阪登集所 電報はよった。 大阪登集所 電報はよった。 大阪登集所 電報はよった。 大阪登集所 電子を表した。 大阪登集所 を表した。 大阪登集 を表した。 大阪を表した。 大

全部引受



ノへ牌を感鳴の眼。季雨梅。" 働みます。故に、日ごろ服性の思い 特に服の衛生に注意し、若し少し



器容服點働自

一錢◆小兒用一十個

押をムゴりとを(盛ジネ)ブクヤキ◎ だん遊も最る出が楽目に的趣自ばセ 一一りあに店頭の園金──翌河県店

連ちよく吹きますっ こり目。かわき目。はれ目。め、ぼし、夢やに目。かずみ目。 鷺 一日。 くもり目がにのばせ目。はやり目。たざれ目。ち 日 角膜翳。結膜充血。麥粒腫用 疲勞眼。學校眼炎。眼睑緣炎

用ロート自題をお他ひ下さい。シマズ、イタマズ 結膜炎。角膜炎。トラホーム

専用として慶方調製の小見

とこは急性指膜炎の症状で
北部してある場合。それは すってんな時には、韓に小兄 又急に自根の部分が減減く

服が開けられなかったり。 二子様方が朝機脂の降に

シカチッタオル。洗面器等を他人に觸れさせぬこと 働この同は非常に博染性のものですから、 磨器のハ の優れ左作用は、こで、病智を抑制、動理させて治 行し、これを覚みに飛げることです。ロート目題 きるまで決して手信を取りはなりません。解説は くので、つい治療を至常にするものですが、治り 無朝港而後、及び社に教訓ロート目題の影戦を歌

ねて腹の形を見にくとするはそだしる。重症にあ

たことのない人でも、梅雨では

は幅いうちに手間をするかとう、よくなると段引

行して非常に翻訳することがよります。この眼瞼

房ったり、よた連続手が生 がかもは異解がで ショリと おて眼球を刺繍し腹に風傷して眼球を刺繍していると、肌峻は金を着していると、肌峻は金を着 別に能しるないので時間に



で川や開林が田安ますが、

九月下旬案葬らる

九中縣除除兵步長一等兵出由主

京城與行

冬季競技が決定して

八月末から九月上旬家が歴倒的多数を占め

桁廳の裏に堂々新築

四日 他してのたが、も日々下降ころ達、青生和選と伸よくなつたので之を終めて、間次に対応が、も日々下降とかけても取り合はだいので興々減が、同次に対応が対象を中央の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を明立の工作を加入。

せダン大劇場

全鮮龍球選手權

明婦 **婦**上 **八**新 電本5745

「東京語」と楽を重要について、とは向き強く、結局大物雑事番の、開闢に関する動物の態度を射線によく地流行に腕する組織の影響を発す、経営して名楽重技を主要せんとする際でもおって大い変なの関係の向上に足に飛つて大い変なの関係を指するが、大砂流行に腕する組織を指するできる。 では、深いなの様性する方針におしては、現立には、変して名。 ないては、深いなの様性する方針におしては、現立には、ないでは、現立には、政策はの向上に足しなった、久を重要について、とは向き強く、結局大物維事務の、開闢に関する動物にないないであった。 ない十六日の解釈師の記述。自りであっ、ない十六日の解釈師のは、自りであっ、ない十六日の解釈師のは、自りであっ、ない十六日の解釈師のは、自りであっ、ない十六日の解釈師のは、自りであって、ない十六日の解釈師

體協でも緊急協議會

この創館に建いて有力層は高量・乾音原によってリオーののかとも機能の設立は親の世たいと原列とんである。 この組織に建いて有力が整線機能(監査園によってなる、是単質生に関する機関はに置てる機構で、観弾が保み場合は一般行成の

「観々の原献が行はれてなり、ド「殿を殿山川潜なる西行を園を建設」するものとして顕行されてある。

近〜代表委員を召集

●報に握し十日午前壱時井分ごろ、物を重大架し十日午後一時(原記)●報出職曲の前内にガスが充調、、は無明しないが記り監察部では単規而行間里所征の間便助維持に係。に高つた、能却なら単信、腹原等に出る。●報に握し十日午前の間便助維持に係。に高つた、能却なら単信、腹原等に出る。

報告書發表を繞り

書問題重大化す

裁判所と檢事局正面衝突



一日ヨリ度数制實施ニ付

品料金 無言ノ請求者 一ツノ電話ニ一個ハ必要

料金投入画ノ出現(吹音画画館装)

将外交員ヲ同ハセマスカラ 體裁優美 堅固ニシテ 取付節易

是非共御高魔ノ上御用命ヲ願ヒマス 京城府设置町七七 內鮮 公業

「彼ちずしくへと」 選群の窓の機「耐は出調への山田職質局域、精助バルチック海磁腔のラトビア」に十日振りに変を見せフタルスト ラトビアのツクルス大尉

綱に掛る者五百名!

大邱神社列格祭

日本人の研究

中うな天命有の種数シーズンに協 競技するので質大門器では昨年の「資原が無の複数に続きいる」 の中うに縁動を開発では昨年の「資原が無の複数に続きいる」 が表現れの高級と歌に長成で、徳年二年所不足器を辿りたて一人々。

本の東島さん ◇早慶戦 ルの東島さん ◇早慶戦 ルの東島の高級を10年間の10年1 ・大学の開発の10年1 ・大学の開発を10年間の10年1 ・大学の開発を10年間の10年1

の嫉妬から

皿が濁るが原因 肋膜・腺病質は

血液の淨化で治す

今津博士の素晴しい研究

京城地方法院

館、本 自日本的人 和记的(在本二七九七萬) 相记的(在本二七九七萬)

老柳病專門翻

7% 计机场 100 计

栗項目

思 給 触方とでは大手である。 の背棒の上便宜立序式します。 のは様の上便宜立序式します。

為五千個 一次 一十九年 一次 一十九年

淡田田栗风

本町二丁山

特別軍の

日本、民臣工選株式智姓原城文店「京城府署大門通五丁目目命ビル

